HVS

T-K9561-B4 AAK

湯水混合水栓柱

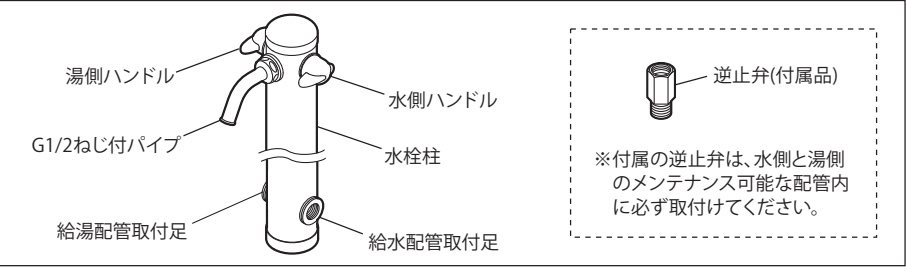
・・・・・・・・・・・・・・・・・・ G211-KS

施工・取扱説明書

ご使用の前にこの説明書をよくお読みのうえ、
正しくご使用ください。

お客様へ
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも
読める所に必ず保管してください。

工事店様へ
施工後、この説明書をお客様へお渡しください。

本製品について　各部の名称

施工について　施工に関する安全上のご注意

●ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害・物損）に結び付く可能性があります。
いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●施工完了後、試運転を行い異常がない事を確認すると共に、工事店様は説明書に沿ってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
●施工は、水道法、その他の関係する法規などに従って行ってください。

用語および記号の説明

警告 ………「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じる事が想定されます。」

注意 ………「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が発生する危険な状態が生じる事が想定されます。」

⚠ ………「注意しなさい!」（上記の「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項を守ってください。）

⃠ ………「してはいけません!」（一般的な禁止記号です。）

………「分解してはいけません!」

………「指示した場所に触れてはいけません！」

! ………「指示通りにしなさい!」（一般的な行動指示記号です。）

⚠注意

（付属の逆止弁について）
●水側と湯側のメンテナンス可能な配管内に必ず取付けてください。
●正しい通水方向で取付けてください。
●給水・給湯配管取付足に直接取付けないでください。
抜けなくなるおそれがあります。

散水用です。
飲用などの用途には使用できません。

修理技術者以外の人は、水栓本体内部を分解しないでください。
故障や水漏れの原因になります。

製品に強い力や衝撃を与えないでください。
故障や漏水の原因になります。

湯水を逆に配管しないでください。
水を出そうとしても湯が出て、やけどをする事があります。
逆配管の場合はハンドルの赤と青の左右を入れ替えてください。

同梱の部品以外は使用しないでください。
故障や水漏れの原因になります。

凍結が予想される地域には、取付けないでください。
凍結破損で水漏れし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

施工について　適切な使用条件

〔水圧について〕

給水・給湯圧力	最低必要水圧(流動時)	最高使用水圧(静止時)
	0.05MPa	0.75MPa

●給水・給湯圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁などで0.2～0.3MPa程度に減圧してください。
●給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。
●給湯圧力は必ず0.05MPa以上にしてください。

〔給湯機について〕

使用最高温度	85℃以下

●給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするために最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
●誤操作などによるやけど防止のため、42～60℃給湯をおすすめします。
●給湯に蒸気を使用しないでください。

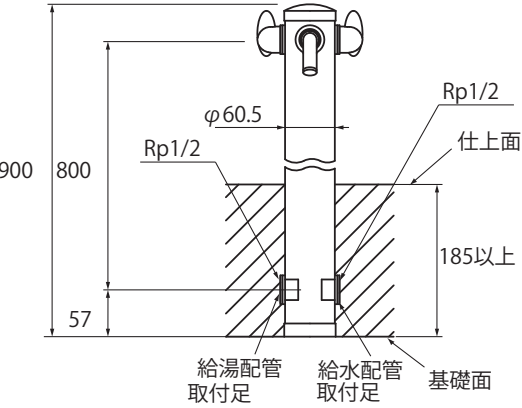
〔水質・用途について〕

使用可能水質	水道水及び飲用可能な井戸水
用途	一般住宅用

施工について　施工前のご注意

●給水は、上水道に接続してください。
●開梱、施工の際は製品に傷をつけないようご注意ください。

施工について　施工手順

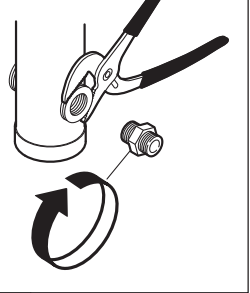
1　設置場所の確認
給水・給湯配管の位置を確認する。

⚠ 注意
●水栓柱は住宅の基礎面上に設置してください。
●基礎がない場合は砂利石、PC板などの十分強固な上に設置してください。
●給水・給湯配管は通常、右側が給水、左側が給湯です。
逆配管の場合はハンドルの赤と青の左右を入れ替えてください。

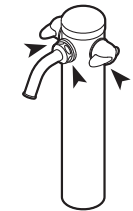
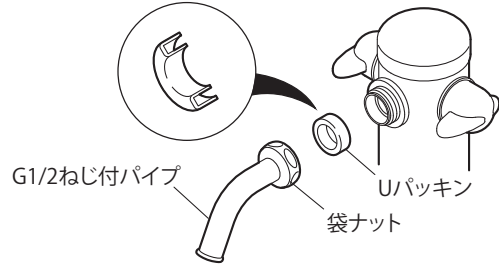
2　水栓柱の取付け
水栓柱を所定の位置に立てかけ、給水・給湯配管を接続する。

⚠ 注意
（付属の逆止弁について）
●水側と湯側のメンテナンス可能な配管内に必ず取付けてください。
●正しい通水方向で取付けてください。

●給水・給湯配管取付足に直接取付けないでください。
抜けなくなるおそれがあります。

接続の際は配管取付足がまわらないように固定してください。

⚠ 注意
取付前に必ず通水し、配管内のゴミを洗い流してください。

3　吐水口の取付け
G1/2ねじ付パイプを水栓柱に取付ける。

4　通水点検
接続後、各部に水漏れがないか必ず確認してください。
水漏れがある場合は、もう一度はじめからやり直してください。

ご使用について　ご使用に関する安全上のご注意

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害・物損）に結び付く可能性があります。
いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠警告

小さいお子様だけのご使用は、避けてください。
やけど・けがをするおそれがあります。

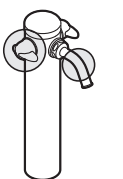
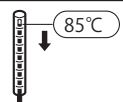
⚠注意

使い始めの水がにおう場合は、しばらく流してからお使いください。
しばらく使われないと、水栓内の水は消毒用の塩素が少なくなり、におうことがあります。

製品に強い力や衝撃を与えないでください。
故障や漏水の原因になります。

分解は、保守・点検の決められた項目以外はしないでください。
器具が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れで家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

給湯温度は85℃より高温で使用しないでください。
85℃より高温でご使用になると、器具の寿命が短くなり、水栓が破損し、水漏れのため家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

●水栓の左側には直接肌を触れないでください。
給湯側のため高温になっており、やけどをするおそれがあります。
●高温の湯をお使いのときは、吐水口に直接肌を触れないでください。
吐水口は高温になっているのでやけどをするおそれがあります。
●夏期や日中(昼間)には器具本体が高温になる場合があります。
金属の表面に直接肌を触れないようにしてください。
やけどをするおそれがあります。

⚠注意

湯を使用する時は水側ハンドルから開いてください。
その後、徐々に湯側ハンドルを開き、温度および吐水量を調節してください。
湯側ハンドルを先に開くと高温の湯が吐水し、やけどをするおそれがあります。

湯を止める時は、必ず湯側のハンドルから閉めてください。
次に使用する際、水栓内に残っている高温の湯が出て、やけどをするおそれがあります。

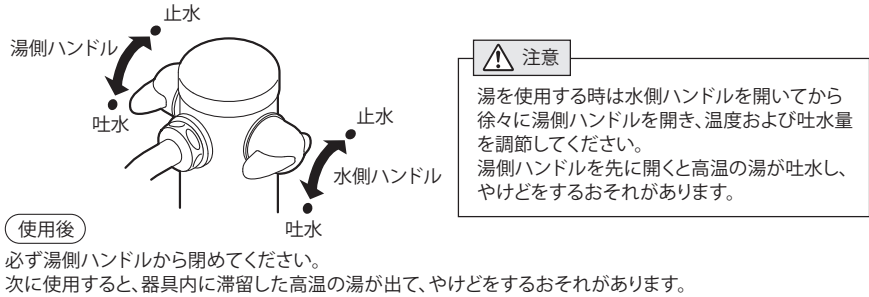
●湯をお使いの後は、しばらく水を流してから止水してください。
次に使用する際、水栓内に残っている高温の湯が出て、やけどをするおそれがあります。
●夏期や日中（昼間）には器具内の水が高温になり、水側からもお湯が出てくる場合があります。しばらく水を流してください。
やけどをするおそれがあります。

ハンドルは、ゆっくり回してください。
ハンドルを急に閉めると、配管に衝撃が加わり、水漏れで家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

他所の水栓の使用などにより水圧変動が起こり、湯の使用中に湯温が急上昇することがありますのでご注意ください。
やけどのおそれがあります。

吐水口先端に重いものを下げたり、力をかけて回したりしないでください。
摩耗、変形などでパッキンの寿命が短くなり、吐水時に吐水口部から微少の水がにじみ出るおそれがあります。

解氷機やアースを水栓に通電しないでください。
水栓が発熱で破損し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

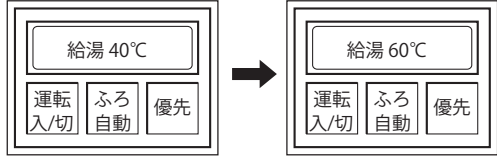
ご使用について 吐水・止水・温度調節

⚠注意

湯を使用する時は水側ハンドルを開いてから徐々に湯側ハンドルを開き、温度および吐水量を調節してください。
湯側ハンドルを先に開くと高温の湯が吐水し、やけどをするおそれがあります。

使用後

必ず湯側ハンドルから閉めてください。
次に使用すると、器具内に滞留した高温の湯が出て、やけどをするおそれがあります。

高温の湯が出ないときは？

湯側ハンドルをまわしても高温の湯が出ないときは、給湯機（給湯リモコンなど）の給湯温度を42～60℃に設定した後、水栓側の湯側ハンドルをまわしてください。

⚠注意

高温の湯を使用した後は、給湯リモコンとハンドルで適温に戻してしばらく水を流してください。

（注）水温の高い夏場で吐水量を少なくして使うと瞬間式給湯機の場合、着火しないことがあります。
この場合には、水栓側のハンドルを全開に（吐水量を多く）するか、給湯機の温度設定を下げてください。

ご使用について 凍結予防

凍結のおそれがある場合は、次の処置によって凍結を予防できる場合があります。

水栓より少量の水を出してください。
（目安として1分間に牛乳ビン1本程度）
※凍結による破損は保証期間内でも有料修理となります。

日頃のお手入れ 汚れの拭き取り

製品についた汚れを放置しておくと、汚れが落ちにくくなることがあります。
快適にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。

●柔らかい布で水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取ってください。
●汚れが目立つときは、中性洗剤を柔らかい布にふくませて拭き取った後水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取ってください。

⚠注意

次のものは使用しないでください。変色や傷みのおそれがあります。
●酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類
※特に酸性洗剤はメッキを侵します。
●ベンジン・シンナー・ラッカー・アルコールなどの溶剤や油類
●クレンザーなどの粒子の粗い洗剤　●ナイロンたわしなど

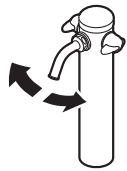
洗剤・薬品が本体に付着した場合は、すぐにきれいに拭き取ってください。
本体の割れや変色変質の原因となります。

定期的な点検 可動部分の点検

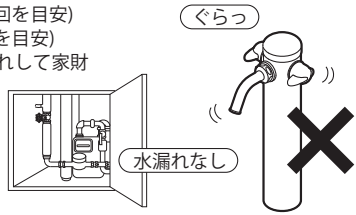
可動部分が固くて動きが悪い場合は、水あか固着や潤滑剤切れです。放置すると故障の原因になりますので、修理をご依頼ください。吐水口の点検については下記を参照ください。

日頃から、ときどき吐水口を回してください。（月1回を目安）

吐水口を長期間回さずに使用すると水あかなどが付着し、無理に回そうとすると、水漏れ・異音の発生の原因になります。

吐水口が回らなくなった場合は、修理をご依頼ください。

定期的な点検 配管周りの水漏れ・器具のガタツキ

定期的に、配管周りの水漏れがないか確認してください。（年2回を目安）
定期的に、器具のガタツキがないか確認してください。（年2回を目安）
劣化・摩耗などで部品が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

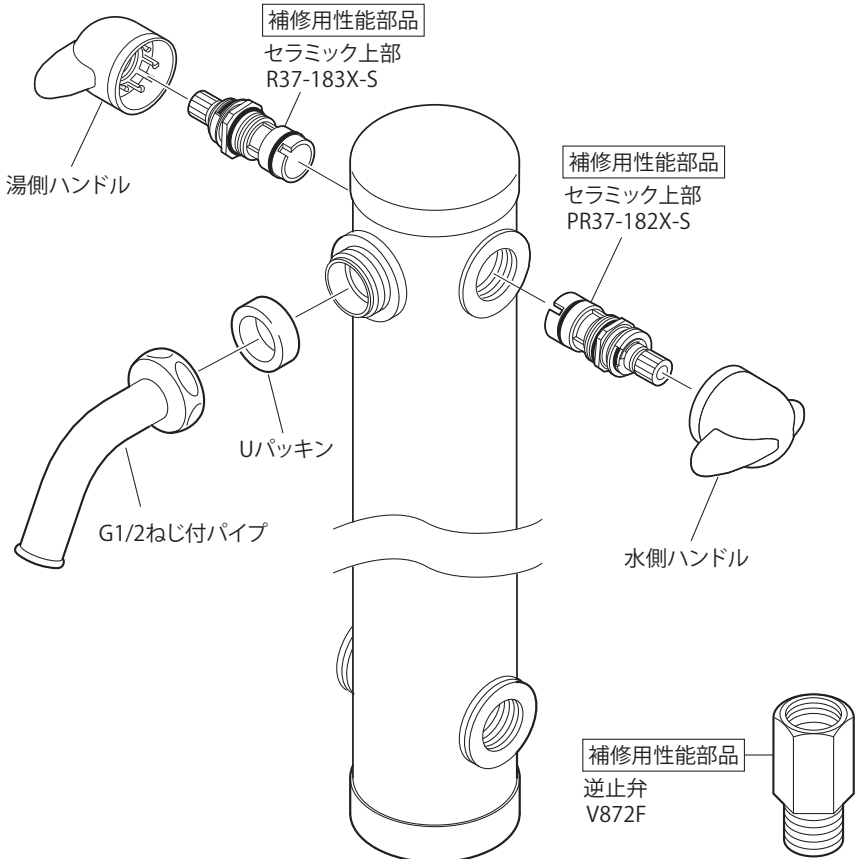
確認

漏水を確認した場合は、配管中の元栓を閉めてください。

こんなときは 故障？ その前に

現象	点検項目	処置
流量が少ない	止水栓は開いていますか。	止水栓で流量を調節する。
	ゴミづまりはありませんか。	セラミック上部のゴミかみがあれば取除き、傷があれば交換する。
高温しかでない	水側の止水栓は開いていますか。	止水栓で流量を調節する。
低温しかでない	給湯機から湯がきていますか。	給湯機の設定温度・作動を確認する。
	湯側の止水栓は開いていますか。	止水栓で流量を調節する。
温度調節がうまくできない	湯側・水側の止水栓は開いていますか。	止水栓で流量を調節する。
	給湯機から湯がきていますか。	給湯機の設定温度・作動を確認する。
	ゴミづまりはありませんか。	セラミック上部のゴミかみがあれば取除き、傷があれば交換する。
水はねが気になる	――――	ハンドルで流量を調節する。

以上の点検を実施されても、不具合がなくならない場合はお手数ですがお買上げの販売店（工事店）に修理をご依頼ください。

こんなときは 本製品の構造

器具の構造を表したイラストです。構造をご理解いただくのにご使用ください。

HVS 株式会社 早川バルブ製作所

【お客様窓口】
高富工場品質保証部
〒501-2104　岐阜県山県市東深瀬94-2
TEL：0581-23-4132
受付時間9：00～17：00（土・日・祝日は除く）

URL　http://www.hvs.co.jp/